

そば打ち (10月3日)

さんが埼玉からそばを打ちに来てくれました。秋は毎回新そばで打っています。今回は深川と江丹別産のそば粉を用意していただき、入居者様が見守り中、手際よくサクサクと打っていきます。見ている方も「難しいな、私にはできません！」とキッパリ言われ、手際の良一手さばきに見とれていました。今回のおそばは、具だくさんの

キノコあんかけそばとそばサラダです。入居者様もそばを見て「具だくさんだねー」「こんなに沢山、ご馳走ですね」、そばサラダを見て「これ何？珍しいねー」と喜ばれていました。食べ始めると「ホント美味しいね！」と、隣の方に「うまいーコレ！」と話されていました。物静かな気難しい入居者様が、いつものソファに座り黙々とそばをすすっていました。珍

しくも食べた後「おいしかった！」と言笑顔で言われておりました。また息子さんが作ってくれたそばを食べたさんは、「いやーこれ美味しいね、嬉しすぎて言葉がでないのさ、ハハハ…本当に美味しいわ!!」とつゆまで全部飲まれていました。さん、今回もお母様をはじめ、入居者様スタッフの為に心温まるおそばをありがとうございました。



お誕生日おめでとう (10月6日)

10月6日 さん 78歳のお誕生日 お部屋から出てきた村中さんにサプライズでお誕生日のお祝いをしました。皆さんから「お誕生日おめでとうございま〜す！」と声を掛けられプレゼントを渡すと、ビックリしたのか少し怒っているように見えました。でもホントは少し嬉しかったようで、普段お部屋でおやつを食べているところを今日はリビングで皆さんと一緒にケーキを食べさせて頂きました。



秋のミニ運動会 (10月10日)



秋と春はミニ運動会を恒例で行います。運動量が減ってきて、「もう少し体を動かさないといけないな」と感じ始めた時期にもぶつかり、皆さん張切って参加されています。大優勝旗は、花の夏祭りでAユニットに持って行かれたこともあり、Bユニットでは奪還に向けて気合も入っています。今回の競技は、軍手リレー競争、玉ぶつけ風船落とし競争、輪リレー

競争、パン喰い競争です。軍手リレー競争は、思いのほか皆さんからの受けがよく、軍手をはいて脱いでの繰り返しに「これ、こうすればいいのかい？」と言いつつ参加されています。大優勝旗は、花の夏祭りでAユニットに持って行かれたこともあり、Bユニットでは奪還に向けて気合も入っています。今回の競技は、軍手リレー競争、玉ぶつけ風船落とし競争、輪リレー

競争、パン喰い競争です。軍手リレー競争は、思いのほか皆さんからの受けがよく、軍手をはいて脱いでの繰り返しに「これ、こうすればいいのかい？」と言いつつ参加されています。大優勝旗は、花の夏祭りでAユニットに持って行かれたこともあり、Bユニットでは奪還に向けて気合も入っています。今回の競技は、軍手リレー競争、玉ぶつけ風船落とし競争、輪リレー

をくわえようと頑張っています。「とんでもない顔していたでしょ？」と照れながら「何回やっても恥ずかしいー、でもおやつだからね!」「自分の分は自分で取らなきゃあね!」と笑い、アンパンを獲得する意味をよく理解されていました。結果、闘志が少し勝ったBユニットが優勝旗を持ち帰っています。

フラワーロード (10月19日)

ひと夏続いた地域の花いっぱい運動のフラワーロードも、この日町内の皆さんと一緒に花を抜き取り終了いたしました。感謝の気持ちを込めながらすべて



抜き取り、合わせて花の畑の花も抜き取りきれいに片づけました。入居者の皆さん、春夏秋冬と長きにわたり大変お疲れ様でした。

さん御長寿百歳の表彰 (10月25日)



10月25日、さんが内閣総理大臣と旭川市長から100歳のご長寿の表彰を受けられました。代理でこられた市役所職員より表彰状を受け取り、「ありがとうございます。100歳まで生きるなんてすごいことだねー」と話され、合わせて記念品の純銀の杯と素敵なタオルケットを頂き、とても丁寧にお礼をされていました。これからも入居者様のけん引役として元気に過ごされてください。おめでとうございます。

藤高生との交流会 (10月1・15・22・29日)



高校生との二ラウンド目の交流会を10月1日、15日、22日、29日に行いました。生徒さんも大分緊張がとれ、生き生きとした動きや笑い声も多く聞こえる時間になっており、皆さんも「よく来てくれたねえー」「おねーちゃんめんこいな」と話しかけておりました。今回は、生徒さん自身が、踊り、歌、ゲームなどを企画して披露してくれました。踊りではサザエさんのテーマソングを歌いながら踊り、その他にも童謡などを歌い生徒さんの若々しい

そぶりや声に自然と皆さん顔がほころんでおります。その他にもボリングゲームや玉入れゲーム、風船ゲームなどをして皆さんと遊び、生徒さんから「宜しくお願いします。頑張りましょう」と声を掛けられると、入居者様も「おねえちゃんいるから頑張る!」と返事されています。「若いからね、何でもできる」「私もこんなときあった、年は・・・」などの言葉もありました。時間はあっという間に過ぎ、おやつクリームドーナツを食べるとすぐお別れ

の時間です。一人ずつ皆さんと握手をして「ありがとうございました」互いにお礼を言い合い、別れ際はどの方も生徒さんの手を放すことが出来ないくらい別れを惜しんでいました。「きつとまた来てね、待ってるから」と声を掛けながら極極まり涙を流されている入居者様もいたり、逆に生徒さんが涙を流す姿もあり「泣かないの!」と入居者様が言っていました。旭川藤女子高等学校の皆さん本当にありがとうございました。

セラピードック (10月28日)

地域のボランティアの方がかわいいワンちゃんを連れて遊びに来てくれました。ミニチュアダック、スフンドや小さいプードル大きなプードルなど6匹のワンちゃんに、皆さん目を細める丸くされた方さまであります。ワンちゃん

ちは、ただかわいいだけではなく、訓練されているので決して吠えたり噛んだりせず、トイレも我慢して皆さんに抱かれなせられます。入居者様は、小さいワンちゃんを抱きかかえて「めんこいなー」とささやかれ、「私も犬飼っていたこ

とあるんだよ」と親しみを込めて言われています。そして大きな犬を見ると「あらー!!!」と圧倒されて口を開けながら驚いていました。またこのワンちゃんに「私様だ!助けて!!」と言われる方もいましたが、心の中はかわいさもあり怖さもあり、でもこの大きい犬を触りたく何度も手を伸ばしてはすぐに引込めを繰り返しています。最後は「大苦手だけど、この子達かわいいわー!おとなしい、ふわふわ〜」と言いつつ笑顔で触っていました。



施設長コラム

若い頃、釣りが好きでメーター越えの大きなイトウを釣りたいと温泉原によく出向いていました。特に秋から冬にかけてどの魚も越冬に備えて食気が増すので、休みの日には必ずと言っていいほど温泉原の川におりました。すると大自然の気候の移り変わりが直に感じ

られとても清々しい気持ちになったものです。私が季節の節目を感じる日として、日に日に寒気が増し、やがて川の水面に薄氷が張り、釣りが出来なくなる日があります。11月23日くらいがその日となります。長年生き抜いた皆さんが、季節や気候に合わせ層で感じることや、自身の五感と経験で微調整しながらうまく自然と付き合えることが沢山あるかと思えます。また近年地球温暖化の影響が少し暖かくなってきた印象があり、生活する上では過ごしやすいくことは歓迎するところかもしれません。ともあれ今私が感じることは、最

近自然に触れる機会がめっきり減ったことが残念なことで、この時期根雪はいつごろになるか、タイヤの交換はいつしようか、外回りの片づけはいつしようかと考える自分があります。このままではつまらないので少しづつ新しいことに取り組もうとしている今日この頃です。